

① 兵庫県内で今年に入って住宅火災による死者は、2月21日現在何人で、この数は昨年1年間のほぼ何割にあたりますか？

② 今月神戸市東灘区で午前10時頃起きた集合住宅火災で亡くなられた父親と娘さんが亡くなられたときの死因は何とみなされていますか？

③ 神戸市内の焼死者発生原因で一番多いのは何で、全体の何%にあたりますか？

④ 火災予防や避難のポイント6つについて、自分の家でできていないことは何か調べ、この記事を読んだ感想も書きましよう。

煙で逃げ遅れ犠牲深刻

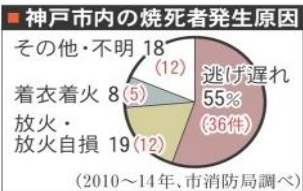
県内火災死者今年既に20人

兵庫県内で今年に入って住宅火災による死者が20人21日現在に上り、すでに昨年1年間(51人)の4割に迫ることが神戸新聞社の調べで分かった。神戸市内では11人で前年同期の6倍と激増。白昼に30代の女性が亡くなるなど被害者は必ずしも高齢者ではなく、煙による「瞬の逃げ遅れ」が目立つ。過去最悪ペースの被害に、神戸市消防局は特別警戒体制を取り、対策を呼び掛けている。

(長江優咲)

神戸市以外では、尼崎 西宮市(死者1人)、川 区で起きた集合住宅火災(死者2人)、豊岡市 西市(同) 高砂市(同)。 今月15日、神戸市東灘(同)、明石市(同)、

神戸は前年同期6倍に



局によると、少量でも煙を吸い込んでしまうと酸素が体内に取り込めなくなり、あっという間に命の危険にさらされるとい

えにくいと東灘消防署。「火事に気付いていたものの逃げられなかったのではないかとみてい

る。近年、建物の耐火性は上がっている一方で、気

密性は高くなり、煙がすぐに充満しやすい構造になっている。神戸市消防

局が効果的という。同局予防課の上村雄二消防司令(51)は「たはこや電気ストーブなど火災の原因は身近な所にある。逃げられると過信しないで」と話してい

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

火災予防・避難のポイント

- (神戸市消防局への取材などから)寝室や台所など複数の部屋に住宅用火災警報器を設置する
- 住宅用消火器を設置する。簡単に使えるスプレータイプも常備する
- 燃えにくい素材でできたカーテンや布団、エプロンを使う
- 初期消火は3分まで。消し止められない場合はすぐに避難を
- 避難の際は煙を吸い込まないよう、ぬらしたハンカチやタオルなどで口と鼻を覆い、低い姿勢で
- 地域で助け合える環境をつくる

気密性向上 充満しやすく

学びポイント!

火事が起こったとき、「どうすれば逃げ遅れを防げるのか」について、学校や家庭で話し合いましよう。

NIEワークシート／中学校、高校

名前